
かながわ里山探検隊

- 甦れ！“われらの里地・里山”-



里山を心のふるさとに

今日私たちは、地球温暖化や生物多様性の低下、森林の減少や水質汚濁など様々な環境問題を抱えています。このような問題の解決のために新しい科学技術やSDGsの目標設定が注目されています。その中で自然に寄り添う生活に関心が集まるようになり、里山の昔からの知恵や営みによる生活が取り上げられるようになってきています。私たちは、里山を訪れて保全活動に参加させていただくことで、自然と向き合って生活していくことを肌で感じ、里山という日本人の心のふるさとの再生を進めるために何ができるかを考えSDGsのモデルとなるような活動を目指しています。

里山探検隊で最も大きな活動は、ほぼ一年を通じて行われる米作りです。5月に行われた今期初めての活動である七沢の田植えでは隊員が一つ一つ手作業で苗を植えました。肌で自然を感じ、不慣れな作業に翻弄されながら様々なことを共有して私たちは里山探検隊としての結束も深まりました。他にも6月の蛍鑑賞や8月の森林セラピー、林業の手伝い、そして11月の収穫祭では私たちが植えて育てたお米を炊いて、ついて、お餅にして美味しく頂きました。それに加え冬にはみかんの収穫に行きました。このみかんは被災地に送られ支援に繋がります。多くの貴重な体験を通して知識を実践し、里山を、日本を取り巻く本当の姿を私たちは目の当たりにし、私たちの社会に必要なことを学びとりました。

今後は林業に目を向け活動範囲を広げながら、より多くの学生が里山に関心を持てるよう活動していきたいと思っています。

- 学生：14名（今城裕里、和泉茉南、小澤柊哉、加藤野愛、城川涼輔、竹内理絵、仲美風、古川笑、松本幸、宮岡伶安、山本彩未、渡邊椋祐、謝怡忱、龍雨辰 / 担当教員：小池治
- 連携・協力：七沢里山づくりの会
- サイト：<http://ynusatoyama.wpblog.jp>